

令和5事業年度

令和5年1月1日から
令和5年12月31日まで

事業報告

公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団

令和 5 事業年度

事業報告

(令和 5 年 1 月 1 日から令和 5 年 12 月 31 日まで)

当財団は定款第 3 条の目的を達成するため、事業計画に基づき以下の事業を実施しました。

I. 事業の実施状況

1. 社会福祉事業に対し施設整備等の助成を行う事業

(1) 助成金交付枠等の通知

令和 4 年 12 月に開催した理事会及び評議員会において決定した令和 5 事業年度の助成金交付枠（各馬主協会及び各県共同募金会への交付枠）について、令和 5 年 1 月上旬に各馬主協会及び各県共同募金会あてに事務手続の案内とともに通知しました。

あわせて、当財団のホームページにおいて、事務手続方法等を詳細かつ平易に掲載することにより、申請する社会福祉施設、受付・推薦を行う各馬主協会及び各県共同募金会、また、審査を行う当財団の事務の効率化を図りました。

なお、令和 6 事業年度の助成金交付枠についても、令和 5 年 12 月の理事会及び評議員会において決定しました。

(2) 助成対象事業の決定

全国の社会福祉法人等を対象に広く募集を行い、各馬主協会及び各県の共同募金会を通じて申請のあった物件について、助成金交付要綱等に基づき、また、事業計画で定めた方針に従って厳正に審査し、令和 5 年 5 月から 9 月までの期間において、順次助成対象事業を決定して関係各所に通知しました。

なお、令和 5 事業年度の概要は、以下のとおりです。

助成金：5 億 5,091 万円（対前年比 103.2%）※含む加算額

助成件数： 393 件（対前年比 101.3%）

※累計（昭和 44 年度～令和 5 年度）

助成金： 1,229 億円余

助成件数： 29,790 件

【表 1】 交付区分別助成事業の内訳

交付区分	件数	金額(千円)
馬主協会	212	315,430
共同募金会	181	235,480
合計	393	550,910

【表 2】 施設種類別助成事業の内訳

施設種類別	件数	金額(千円)
障害者(児)	174	240,210
老人	142	222,330
母子・児童	75	86,410
その他	2	1,960
合計	393	550,910

【表 3】 1 物件当たりの助成金平均交付額 (4 年間の推移)

区分	令和 5 年度 (件数)	令和 4 年度 (件数)	令和 3 年度 (件数)	令和 2 年度 (件数)
馬主協会 (10 単協)	148.8 万円 (212 件)	146.1 万円 (216 件)	132.4 万円 (210 件)	135.2 万円 (207 件)
共同募金会 (38 府県)	130.1 万円 (181 件)	126.9 万円 (172 件)	122.9 万円 (169 件)	122.3 万円 (171 件)
全体	140.2 万円 (393 件)	137.6 万円 (388 件)	128.2 万円 (379 件)	129.4 万円 (378 件)

【表 4】 車両等に対する助成金交付額の割合 (4 年間の推移)

区分	令和 5 年度 車両割合	令和 4 年度 車両割合	令和 3 年度 車両割合	令和 2 年度 車両割合
馬主協会	48.7%	54.4%	60.9%	57.8%
共同募金会	54.0%	66.5%	68.7%	62.9%
全体	50.9%	59.3%	64.3%	60.0%

参考：車両台数 190 台 206 台 218 台 198 台

(3) 助成金の交付

令和 5 年 5 月以降における助成金交付決定の通知に基づいて事業を実施した法人に対し、8 月から随時助成金の交付を行いました。

なお、事業の実施に当たり、入札等の結果によって事業費総額が減少した場合は、交付決定時に各法人に通知した助成金額を総額の減少と同じ比率で減額して交付しましたが、その減額分については、各馬主協会及び各県共同募金会に対する令和 7 事業年度の交付枠に加算されます。

(4) 助成事業の監査

令和5事業年度助成事業の監査については、令和3事業年度に助成した団体を対象として、全体で書類監査56件（うち実地監査23件）を実施しました。

実地監査は、馬主協会経由施設5協会10団体及び県共募経由施設9県13団体の合計23団体について実施しました。

監査の結果、各施設とも助成事業の実施内容について管理及び運用等特段の問題は見られず、また、助成物件について有効に利用されていることを確認しました。

2. 社会福祉事業関係者の研修事業に対し助成を行う事業

(1) 海外研修事業

① 第48回・第49回海外研修の実施

令和元年に決定し、新型コロナウイルスの感染拡大により派遣を延期されていた第48回生3名及び令和4年に決定した第49回生3名を対象に下記のとおり研修を実施しました。

合同研修：2023年4月24日～28日（サンフランシスコ）

個別研修：2023年4月29日～最長6月22日（世界各地）

② 第50回海外研修生の決定

第50回研修生については5月から7月まで募集を受け、8月に一次審査、9月に二次審査を実施し、4名の合格者を決定しました。

この4名は、2024年4月から研修予定となっています。

③ 第48回・第49回海外研修に関する報告会の開催等

令和5年度に実施した海外研修生6名の研修報告会を10月に東京にて実施しました。また、「令和5年度海外研修報告書集」を作成するとともに、ホームページに掲載して、広く社会福祉関係者に対する啓発活動を行いました。

(2) 国内研修事業

国内研修事業については、外部実施事業者への助成事業として行ってきました。

令和5事業年度は前年12月～1月に公募し、2月の審査の結果、当財団の目的に合致した研修を実施可能な公益財団法人社会福祉振興・試験センターを研修実施事業者として選定し、以下に記載した2回のオンラインによる研修会に対して助成しました。

① 7月開催

対象者 : 高齢者施設の介護職員

期間 : 7月10日(月)～7月13日(木)

受講者 : 53名(定員60名)

② 10月開催

対象者 : 障害児・者支援施設等の生活・就労・相談支援員

期間 : 10月16日(月)～10月19日(木)

受講者 : 31名(定員60名)

また、各研修会で使用した関係資料をホームページに掲載し、広く社会福祉関係者に対する啓発活動の一助としました。

3. 中央競馬関係者の福利厚生の上向のための事業(福祉手当の支給)

福祉手当支給対象者(令和5年1月1日で59名、令和5年12月31日で63名)に対して支給要綱等に基づき四半期毎に適正に支給しました。

II. 総務関係

1. 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	主たる議案
第1回 (2月24日)	○令和4事業年度 事業報告及び決算の承認の件 ○令和5事業年度 第1回定時評議員会開催の件 ○評議員の欠員による後任評議員候補者推薦の件 ○理事の欠員による後任理事候補者推薦の件 □職務執行の状況等について(報告)
第2回 (3月17日)	○専務理事の選定の件 ※書面表決
第3回 (10月12日)	○令和5事業年度 第2回評議員会(書面表決)の開催の件 ○評議員の欠員による後任評議員候補者推薦の件 ○理事の欠員による後任理事候補者推薦の件 ※書面表決
第4回 (11月10日)	○令和5事業年度 第3回評議員会の開催の件 ※書面表決
第5回 (12月15日)	○令和6事業年度 事業計画及び収支予算の承認の件 ○令和6事業年度 施設整備等助成金の交付枠決定の件 □職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

開催日	主たる議案
第1回 定時 (3月17日)	○令和4事業年度 事業報告及び決算の承認の件 ○評議員の欠員による後任者選任の件 ○理事の欠員による後任者選任の件
第2回 (10月23日)	○評議員の欠員による後任者選任の件 ○理事の欠員による後任者選任の件 ※書面表決
第3回 (12月15日)	○令和6事業年度 事業計画及び収支予算の承認の件 ○令和6事業年度 施設整備等助成金の交付枠決定の件

2. 役員、評議員の異動等

3月17日 第1回評議員会

○評議員の選任

(退任) 河内孝夫 評議員 本川一善 評議員 臼田雅弘 評議員
(新任) 高橋則行 評議員 吉田正義 評議員 佐野健吉 評議員

○理事の選任

(退任) 木村一人 理事 西川浩明 理事
(新任) 臼田雅弘 理事 後藤浩之 理事

3月17日 第2回理事会 ※書面表決

○専務理事の選定

専務理事に後藤浩之理事を選定

10月12日 第3回理事会 10月23日 第2回評議員会 ※書面表決

○評議員の選任

(退任) 吉田正義 評議員
(新任) 山口英彰 評議員

○理事の選任

(退任) 後藤正幸 理事
(新任) 吉田正義 理事

Ⅲ. 事業報告の附属明細書

令和5事業年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありませんでしたので、附属明細書は作成いたしませんでした。